

令和7年度 第7回崇化館地域会議 会議録

■日 時	令和7年12月16日（火）午後6時30分～午後8時				
■場 所	崇化館交流館 4階 第2会議室				
■出席者	<委 員>	伊藤 貴史 戸田 博基 日恵野 雅俊 山内 由美子	稻本 泰孝 永井 靖美 藤井 康博	井上 真一 服部 啓二 藤村 匡泰	柘植 伸夫 林本 基 本多 錢孝
	<欠 席>	太田 真由美	木村 友浩	永山 慎二	松山 純成
	<交流館>	森波 かおり（崇化館交流館長）			
	<事務局>	杉浦 智文（拳母事務所長） 柴田 健太郎（地域交流課主査）		田嶋 優俊（地域交流課担当長）	

■次 第

- 1 開会 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 検討事項
つなげる対象者の検討

■議 事（要約）

3 検討事項

つなげる対象者の検討

「住民同士のつながり」における「住民」は具体的に誰を対象とするのか。具体的につなげたい対象者とその理由をグループワークにて検討した。

<グループワークによる検討結果>

A グループ

パターン①

つなげたい対象者：自治区（地域）・子ども（子ども会）と学生（中学生～大学生）

理由：自治区と子どもとの間に学生を入れて、一体的につながるようにしたい。子ども会の存在によって、自治区と小学生とのつながりは比較的あるが、自治区と中学生以上のつながりがないのが現状。防災をはじめ、全ての事柄においてこれからを担う世代とのつながりが強くなるとよい影響がある。また、具体的な取組内容案としては、学生を取り込むことができるイベントの企画などが考えられる。

B グループ

パターン②

つなげたい対象者：地元住民と転入者

理由：転入者はお祭りなどの地域行事に関する情報が入手しにくく、行事に関連した騒音などの苦情が地域に寄せられる。地元住民と転入者をつなげることによって、地域行事の存在を認識してもらい、行事に伴う騒音等にも多少理解してもらえるのではないか。

パターン③

つなげたい対象者：自治区と子ども会と子育て世代

理由：地域行事の情報発信において連携があまりできていない。自治区と子ども会が

連携することによって、地域住民に広く周知することができるのではないか。
また、次世代を担う子どもが地域に愛着を持ってもらうためには、子育て世代
をまず地域に取り込む必要がある。

C グループ

パターン④

つなげたい対象者：自治区と子ども

理由：それぞれ役員の扱い手に苦慮している。自治区行事と子ども会の行事を結び付けて行うことで主催側の負担軽減と参加者の増加につながるのではないか。

グループワークによる検討を基に、1人2票の投票によって、つなげたい対象者とその理由を決定した。

＜投票の結果＞

1位：パターン①（11票）

2位：パターン④（5票、決選投票：6票）

3位：パターン②（5票、決選投票：4票）

4位：パターン③（5票、決選投票：3票）

※1回目の投票ではパターン②～④が同票であったため、決選投票により順位を決定。

次回以降の検討について

今回の投票結果を基に、取扱うテーマを明確にしながら、具体的な取組内容について検討していく。

以上

《今後の予定》

●令和7年度 第8回崇化館地域会議

日 時：令和8年1月20日（火）午後6時30分～

場 所：崇化館交流館 4階 第2会議室